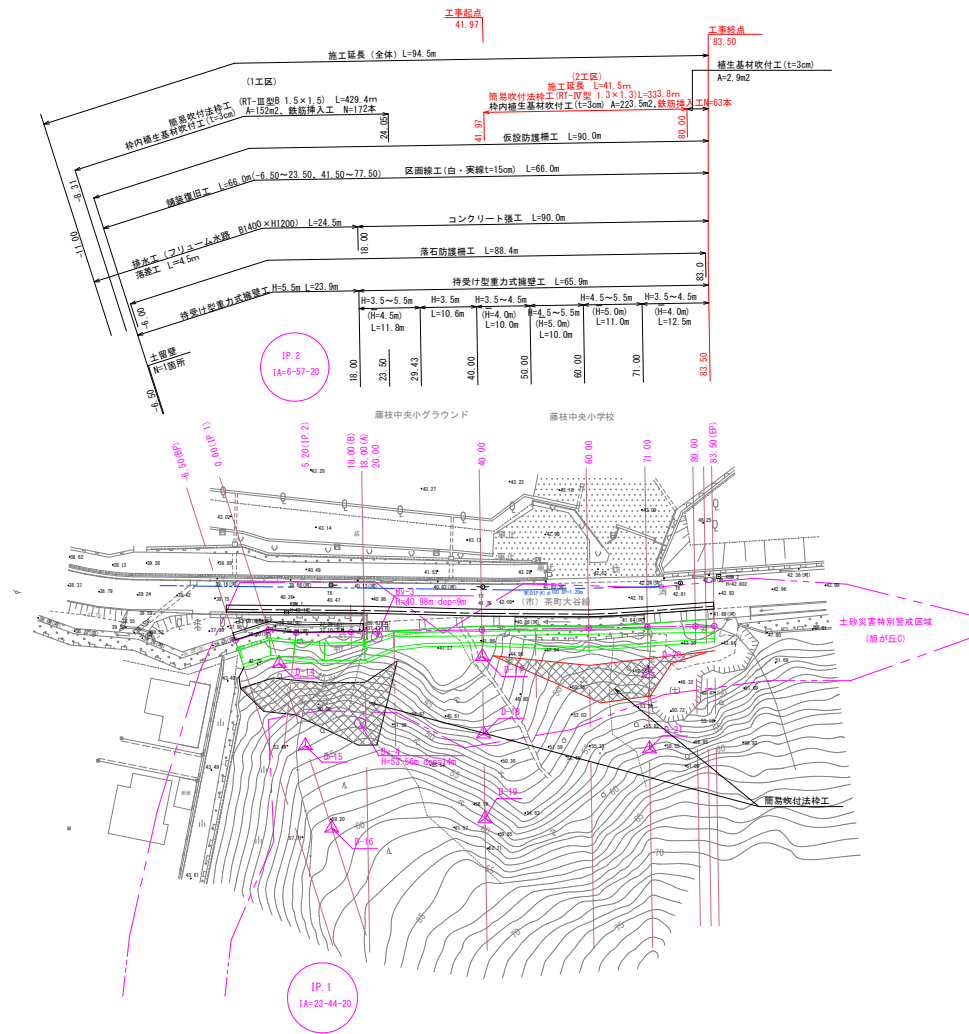


平面図

S=1:500 (1:1000)

藤枝市 原 地内

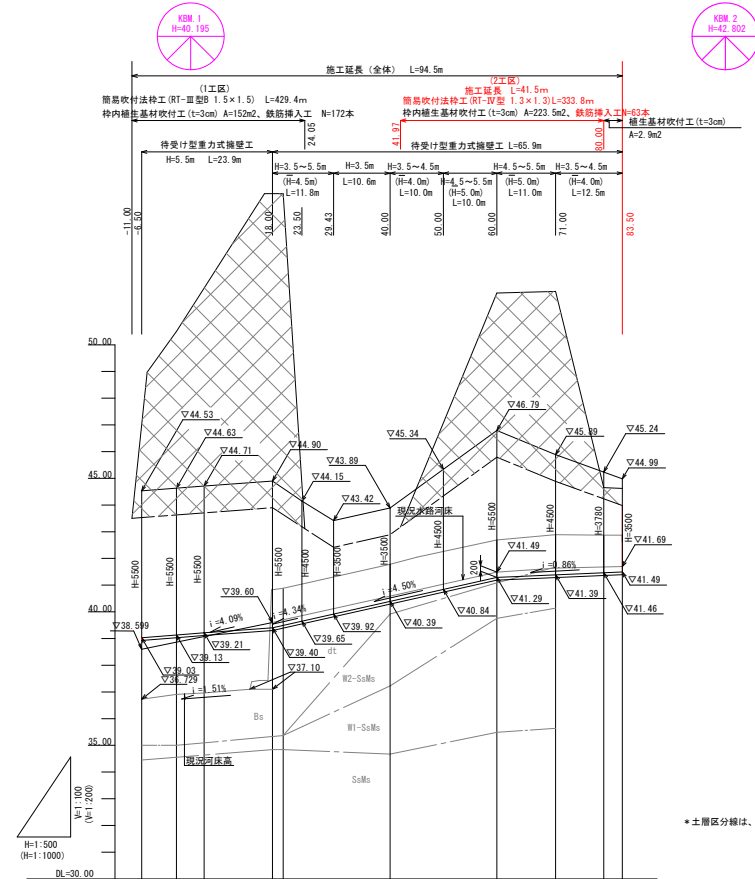


凡 例	
	土砂災害特別警戒区域
	ボーリング調査位置
	簡易動的コーン貫入試験位置

縦断面図

V=1:100 (1:200)

H=1:500 (1:1000)



\*土層区分線は、測量センター位置での表記である。

簡易吹付法 枠工天端高	46.89	50.50	55.67	51.93	51.94	44.65
簡易吹付法 枠工下端高	43.53	43.63	43.71	43.90	45.79	44.14
擁壁天端高	44.53	44.53	44.71	44.90	43.89	45.24
擁壁基礎 天 端 高	38.53	38.63	38.71	38.90	41.29	41.46
計画側溝 河床高	38.59	38.84	39.07	39.60	41.49	41.69
地 壁 高	36.73	36.91	36.96	40.83	42.66	42.67
追加距離	-6.50	0.00	5.20	18.00	60.00	80.00
単 距 離	0.00	6.50	5.20	12.80	20.00	9.00
測 点	-6.50 (P.1)	0.00 (P.1)	5.20 (P.2)	18.00	40.00	40.00
曲 線	IP.1 1A=23-44-20					

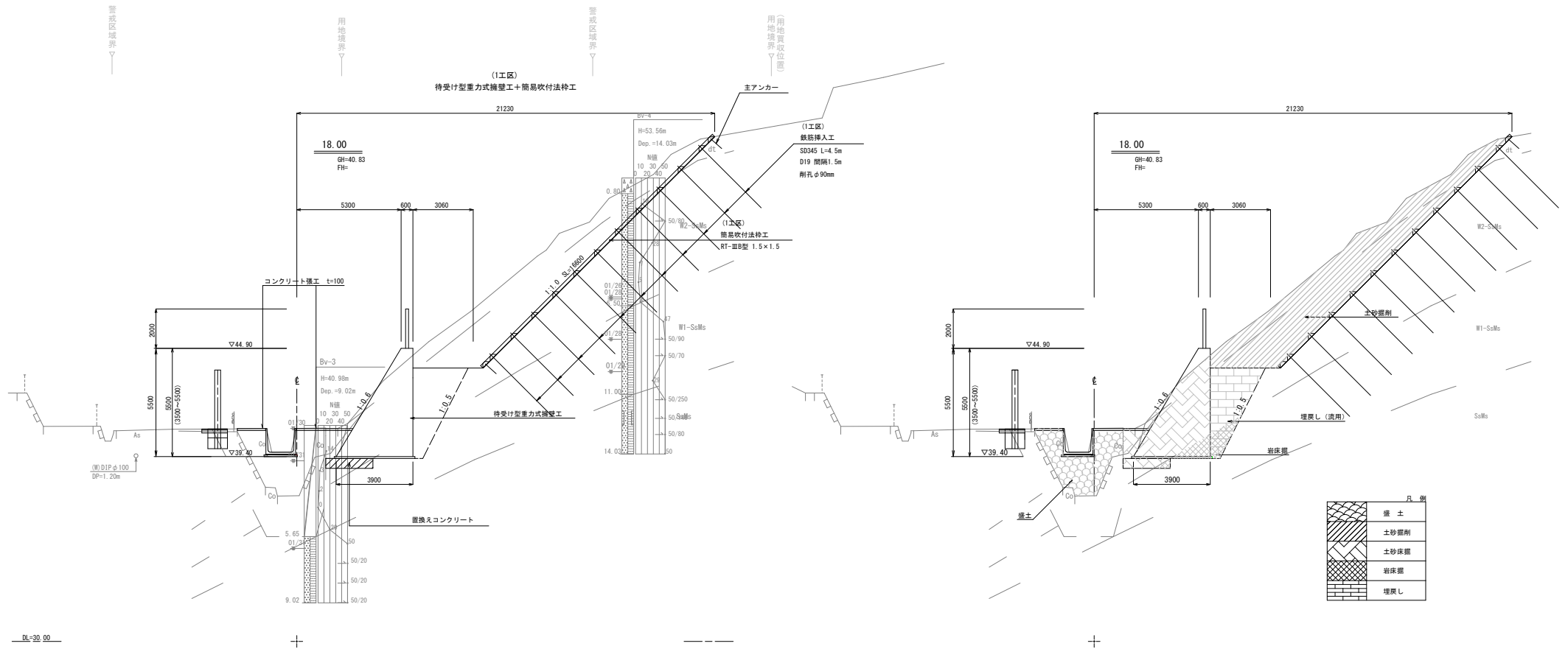
工事名	令和7年度(防災)市道茶町大谷線 (原)道路整備工事
図面名	平面図・縦断面図
作成年月日	令和7年4月
縮尺	図示 ( )内はA3縮小
事業者名	藤枝市役所 都市建設部 建設管理課 河川課

標準横断面図

S=1 : 100 (S=1 : 200)

土工定規図

S=1 : 100 (S=1 : 200)



凡 例

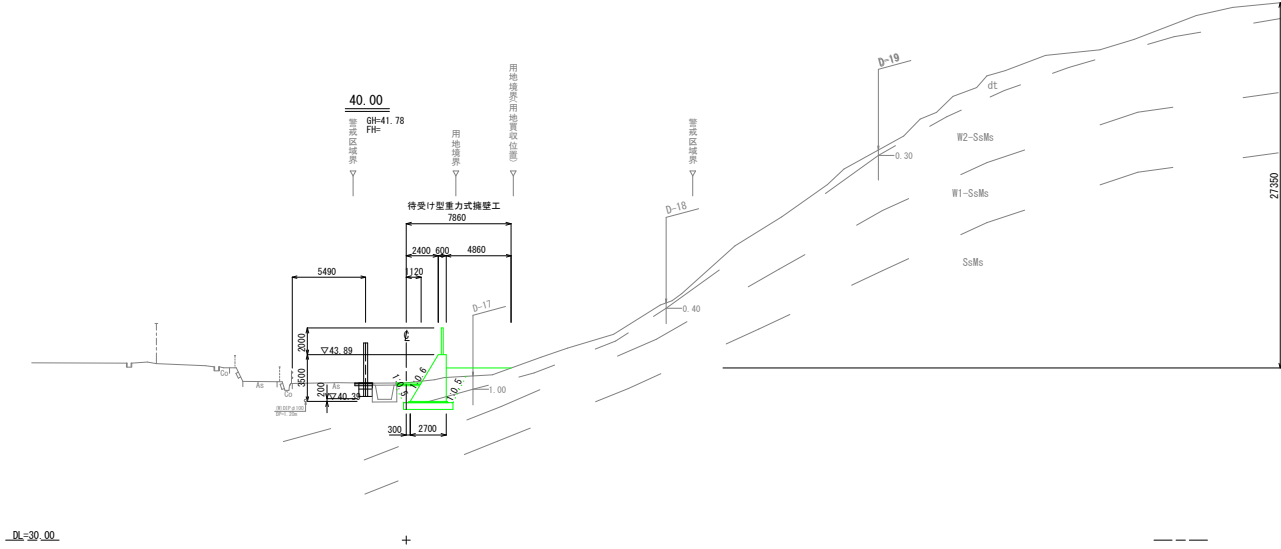
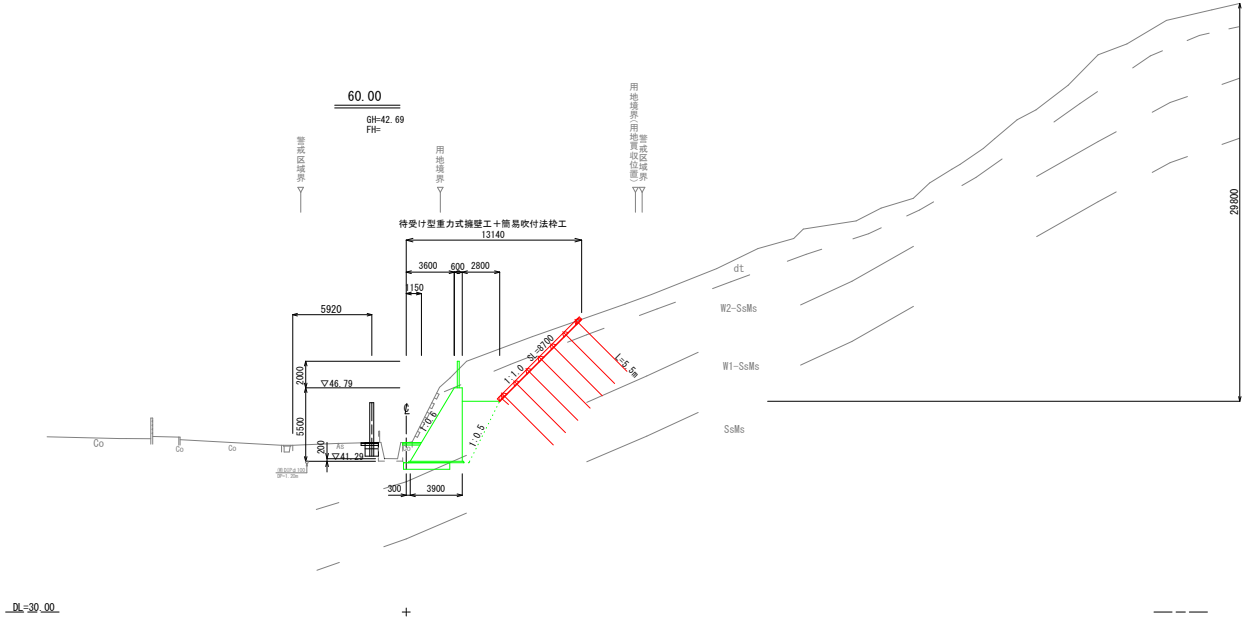
茶町大谷線

地質時代	地層名	層相・岩相	記号	岩相区分	測定H値
第四紀	完新世	盛土	粘土質砂礫	Bs	-
		礫混じり粘土			2
	前積土	礫混じり粘土	dt	-	-
新第三紀	大井川層群	強風化			
		砂岩泥岩互層	W2-SsMs	D	5~10
		風化			
		砂岩泥岩互層	W1-SsMs	CL	29~47
		砂岩泥岩互層	Ss-Ms	CM	50以上

凡 例	
	盛土
	土砂礫層
	土砂床層
	岩床層
	埋戻し

工事名	令和7年度（防災）市道茶町大谷線（原）道路整備工事
図面名	標準横断面図・土工定規図
作成年月日	令和7年4月
縮尺	図示（ ）内はA3縮小
図面番号	2 / 9
事業者名	藤枝市役所 都市建設部 建設管理課 河川課

横断面図（1）  
S=1：200（1：400）



凡 例

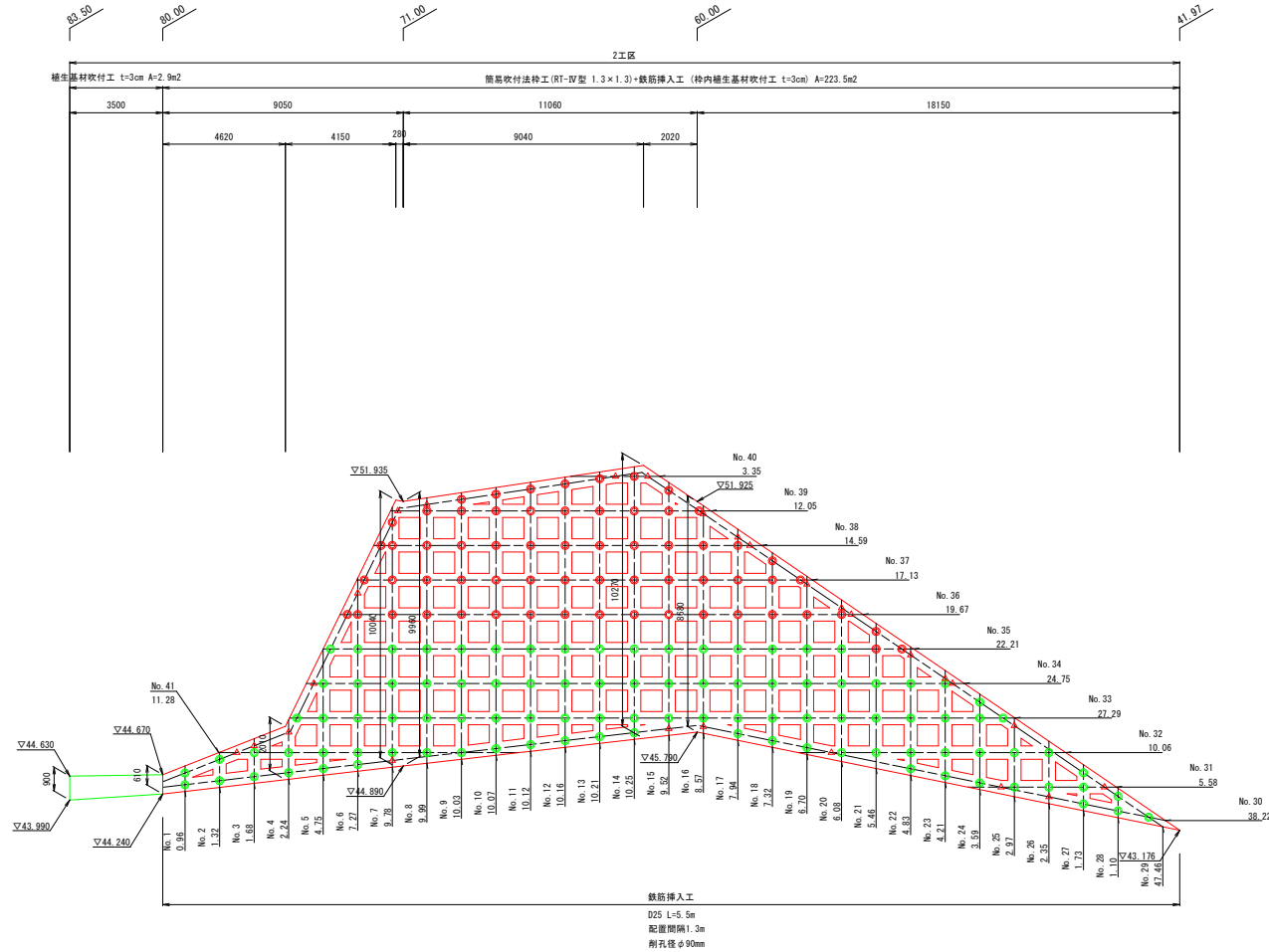
地質時代	地層名	層相・岩相	記号	岩級区分	測定N値
第四紀	完新世	盛土	Bs	-	2
	前積土	礫混じり粘土 粘土質砂礫	dt	-	-
新第三紀	鮮新世	大井川層群	強風化 砂岩泥岩互層	W2-SsMs	D
		風化 砂岩泥岩互層	W1-SsMs	CL	29~47
		砂岩泥岩互層	Ss-Ms	CM	50以上

DL=30.00

工事名	令和7年度（防災）市道茶町大谷線（原）道路整備工事
図面名	横断面図（1）
作成年月日	令和7年4月
縮尺	図示（ ）内はA3縮小
図面番号	3 / 9
事業者名	藤枝市役所 都市建設部 基盤整備局 河川段



法面展開図  
(2工区) S=1:100 (1:200)



No.	長さ (m)	No.	長さ (m)
1	0.96	22	4.83
2	1.32	23	4.21
3	1.68	24	3.59
4	2.24	25	2.97
5	4.75	26	2.35
6	7.27	27	1.73
7	9.78	28	1.1
8	9.99	29	47.46
9	10.03	30	38.22
10	10.07	31	5.58
11	10.12	32	10.06
12	10.16	33	27.29
13	10.21	34	24.75
14	10.25	35	22.21
15	9.52	36	19.67
16	8.57	37	17.13
17	7.94	38	14.59
18	7.32	39	12.05
19	6.7	40	3.35
20	6.08	41	11.28
21	5.46	合計	424.8

種別	算定式	単位	数量
総長さ	424.8	m	424.8
橋子点数	182	力所	182
法長さ	424.8-182×0.5	m	333.8

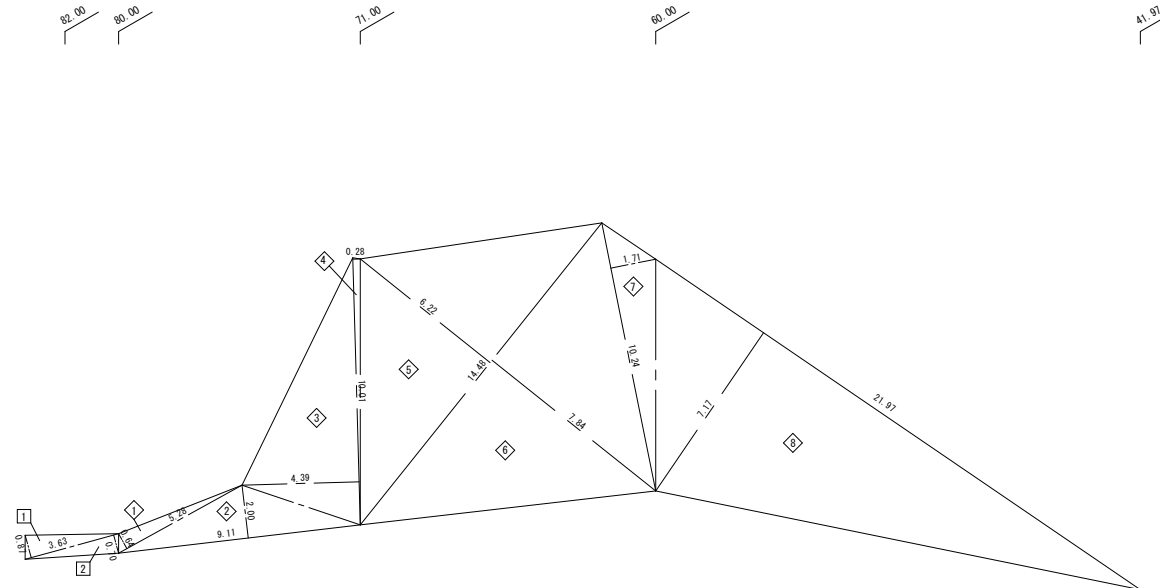
鉄筋挿入工 材料表				一式当り		
工 種	種 別	規 格	単位	1工区数量	2工区数量	合計数量
抑止工	鉄筋挿入工 (剛孔径φ90)	△ 主アンカーのみ	本	40	26	66
		○ 鉄筋挿入工 D19 L=4.5m	本	145/172	—	172
		● 鉄筋挿入工 D25 L=5.5m	本	—	63/162	162
法面工	法面整形工	切土法面整形工	m2	316.7	226.3	541.9
	簡易吹付法枠工	RT-Ⅲ型B 1.5×1.5	m2	376.7	—	376.7
		RT-Ⅳ型 1.3×1.3	m2	—	223.5	223.5
	ラス網工	線径2mm, 網目50mm	m2	316.7	226.3	543
	枠内植生基材吹付工	t=3cm	m2	152.0	82.7	234.7
	植生基材吹付工	t=3cm	m2	—	2.9	2.9

CAD算出

工事名	令和7年度(防安)市道茶町大谷線 (原)道路整備工事		
図面名	法面展開図		
作成年月日	令和7年4月		
縮尺	図示 ( )内はA3縮小	図面番号	5 / 9
事業者名	藤枝市役所 都市建設部 建設管理課 河川段		

# 法面求積図

(2工区) S=1:100(1:200)



植生基材吹付工

記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	3.63	0.87	3.16
2	3.63	0.70	2.54
倍面積 m2			5.70
面積 m2			2.85

簡易吹付法砕工 (RT-IV型 1.3×1.3)

記号	底辺	高さ	倍面積 m2
1	5.28	0.64	3.38
2	9.11	2.00	18.22
3	10.01	4.39	43.94
4	10.01	0.28	2.80
5	14.48	6.22	90.07
6	14.48	7.84	113.52
7	10.24	1.71	17.51
8	21.97	7.17	157.52
倍面積 m2			446.96
面積 m2			223.48

工事名	令和7年度(防災)市道基町大谷線 (原)道路整備工事		
図面名	法面求積図		
作成年月日	令和7年4月		
縮尺	図示 ( ) 内はA3縮小	図面番号	6 / 9
事業者名	藤枝市役所 都市建設部 基盤整備局 河川課		

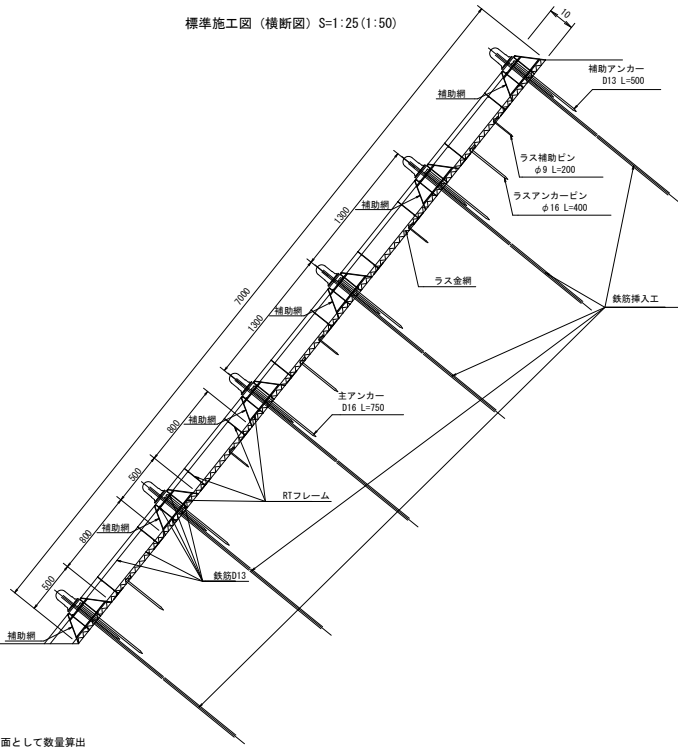
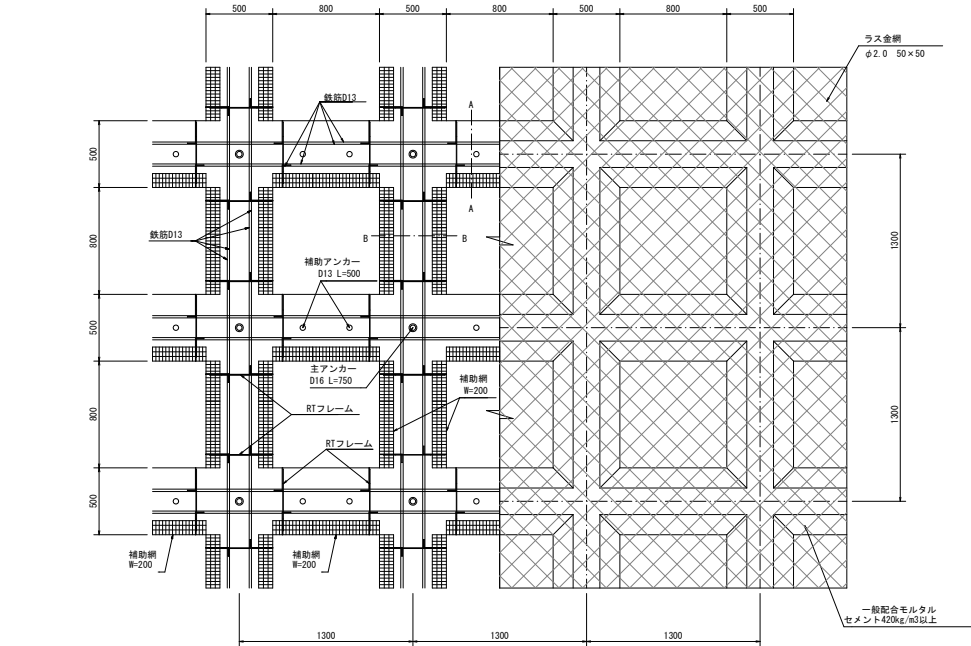
簡易吹付法枠工構造図

標準施工図（正面図）S=1:20 (1:40)

RTⅣ型 1300×1300

標準施工図（横断面図）S=1:25 (1:50)

(2工区)



標準数量（積算基準数量）

高さ21.30m×長さ48.60m=1035.18m2の法面として数量算出

横枠数= (21.30m-0.50m)/1スパン1.3m=16スパン \*17段

縦枠数= (48.60m-0.50m)/1スパン1.3m=37スパン \*38列

項目	材料	数量	数量計算	
法枠長		1312.60m	(21.30m×38列+48.60m×17段)÷38列×17段=1312.60m	
鉄筋加工組立工	鉄筋 D13 SD345	6509.69kg	(21.30m×38列+48.60m×17段)×4本×0.995kg/m=6509.69kg	*損失ロスを含まない数量。 鉄筋使用量には17%加算が必要。
RTフレーム設置工	RTフレーム Ⅳ型 W=200-500 h=250	2474個	縦枠 2個/スパン×16スパン×38列=1216個 横枠 2個/スパン×37スパン×17段=1258個	
主アノカ設置工	先付けアノカ D16 L=750	646本	38列×17段=646本	
補助アノカ設置工	先付けアノカ D13 L=500	1258本	2本/スパン×37スパン×17段=1258本	
補助網設置工	吹付け金網 200×800	1845枚	縦枠 2枚/スパン×16スパン×38列=1216枚 横枠 1枚/スパン×37スパン×17段=629枚	
枠内清掃工		592箇所	16スパン×37スパン=592箇所	
法枠吹付工	一般配合モルタル	122.94m3	断面積=0.088m2 交差部体積=0.0325m3 (21.30m×38列+48.60m×17段)×0.088m2÷38列×17段×0.0325m3=122.94m3	*損失ロスを含まない数量。 吹付使用量には30%加算が必要。
枠内面積		378.88m2	1035.18m2-1312.60m×0.50m=378.88m2	

注意事項

\*本表記載の数量は、法枠長1.0m当りの工事単価を求める積算基準数量であり、基準スパンに基づいて求めた数量である。実施スパンは法面形状に応じて調整を行うので実施数量も変動するが、単価積算での数量変更は行わないものとする。

\*モルタルの設計基準強度は18N/m2に設定している。（標準配合：セメント420kg/m3、1.4モルタル）

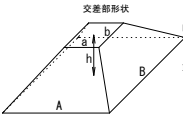
\*モルタルに遅延剤・添加剤は含まないで、必要に応じて計上するものとする。

\*鉄筋はD13×SD345を標準とし、重ね長さは455mm以上とする。（計算書による。）

\*下側の鉄筋設置位置は、外側・内側のどちらでもよい。（断面図参照）

\*各アンカーは、吹付中に鉄筋がズレないような状態に設置し、鉄筋を固定する。  
\*横枠の下側面と、縦枠の前面へ補助網（吹付け金網相当）を設置し、モルタルのダレを防止する。  
設計断面積は必要最低限の200mmとしているので、200mmより広いものを使用してもよい。

\*吹付の仕上げは自然状態とし、小手による整形は行わないものとする。  
但し、ロックボルト併用の場合の角座金設置面は、平坦な仕上げとする。



四角管台の体積  $V=h/6 (Ab + ab + 2(ab + AB))$

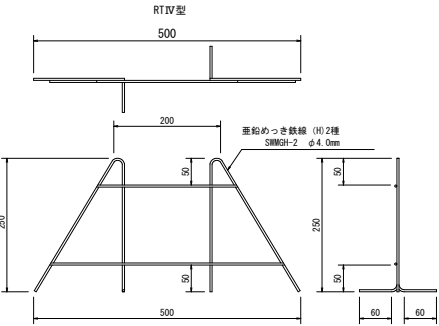
IV型寸法  $a=b=0.20m$   $A=B=0.50m$   $h=0.25m$

IV型交差部体積  $V=0.25/6 (0.50 \times 0.20 + 0.20 \times 0.50 + 2 (0.20 \times 0.20 + 0.50 \times 0.50)) = 0.0325m^3$

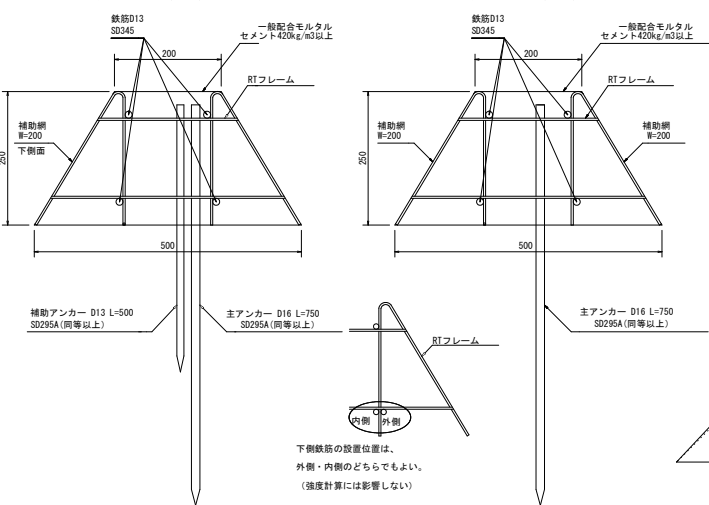
IV型断面積  $S=(0.20+0.50)/2 \times 0.25=0.088m^2$

下側鉄筋の設置位置は、  
外側・内側のどちらでもよい。  
（強度計算には影響しない）

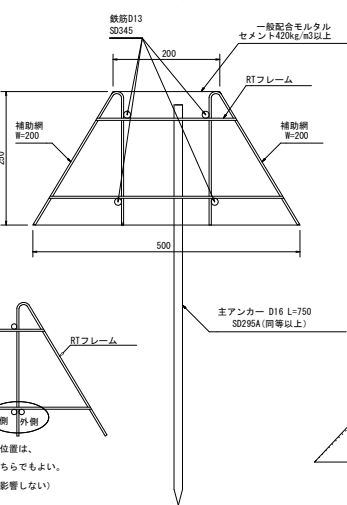
RTフレーム詳細図 S=1:5 (1:10)



A-A断面 S=1:5 (1:10)

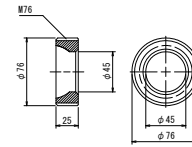


B-B断面 S=1:5 (1:10)



(2工区)

ねじ付き球面ワッシャー  
HDZ35



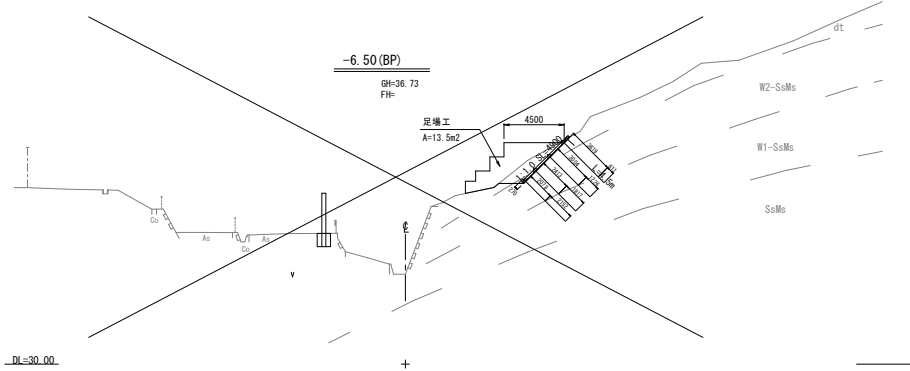
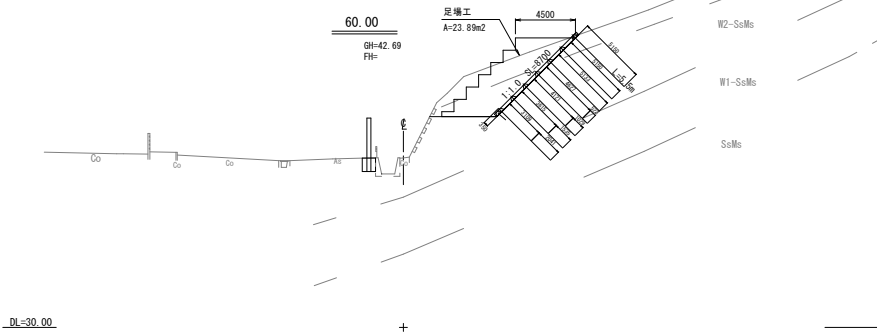
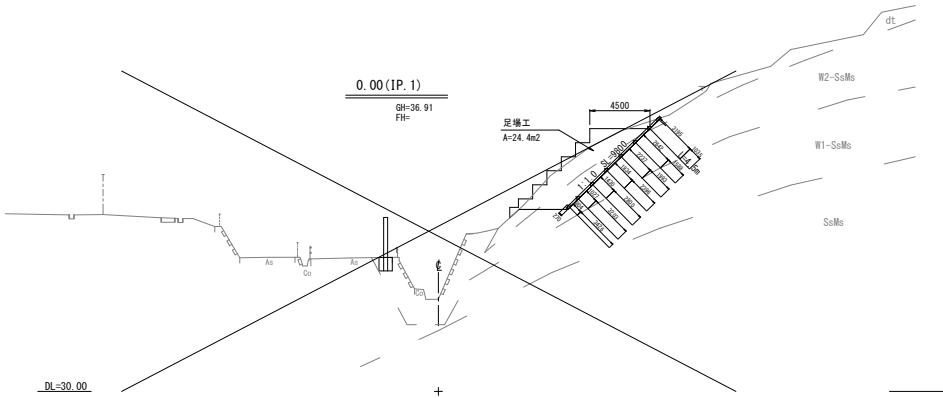
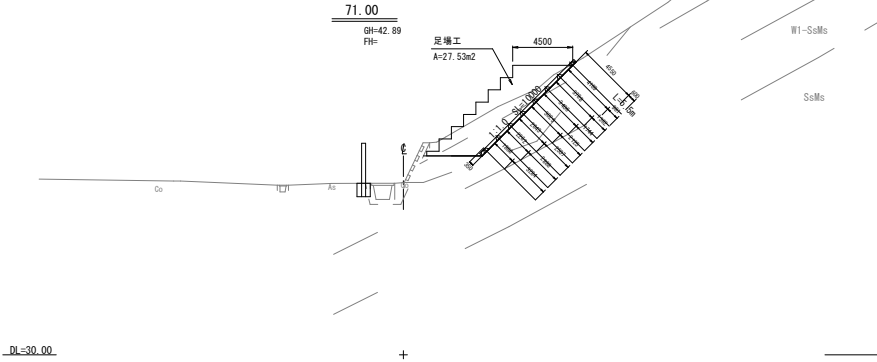
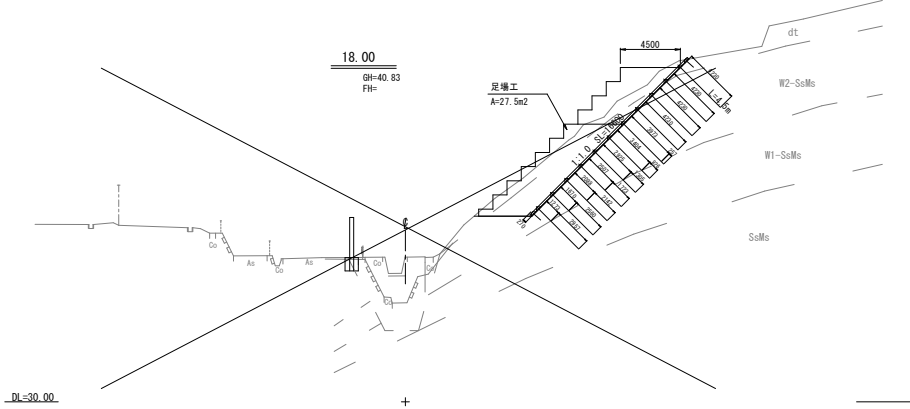
※補強材はネジ節異形棒鋼もしくは異形棒鋼と同等以上(SD345以上)のものを使用すること。

工事名	令和7年度(防災)市道茶町大谷線 (原)道路整備工事		
図面名	鉄筋挿入工構造図		
作成年月日	令和7年4月		
縮尺	図示 ( )内はA3縮小	図面番号	8 / 9
事業者名	藤枝市役所 都市建設部 基盤整備係 河川課		



法面工数量根拠図【参考図】

S=1:200 (1:400)



工事名	令和7年度（防災）市道荏荏町大谷線 （原）道路整備工事
図面名	法面工数量根拠図【参考図】
作成年月日	令和7年4月
縮尺	図示 ( ) 内はA3縮小
図面番号	9 / 9
事業者名	藤枝市役所 都市建設部 建設管理課 河川課